

## 当面の対応方針（案）

### 1. 対策方針（案）

利水放流設備によるダム底層からの放流に伴う下流河川への影響を緩和するため、湖底に沈降している白濁物質の流出抑制対策を実施するとともに、ダムの本格運用に先立ち試験放流を実施することにより、下流河川への影響を把握する。

#### 1) 白濁物質の流出抑制対策（別紙－6、別紙－7）

- ・利水放流設備前面取水口（湖底）に汚濁防止膜を設置し、白濁物質の流出を抑制する。
- ・利水放流設備放水口と洪水吐の合流部に大型土のうを設置し、希釈を促進する。

#### 2) 試験放流

- ・白濁物質の流出抑制対策工事の完了後、利水放流設備放流水を洪水吐ゲート放流水により希釈させる試験放流を実施する。
- ・試験放流では、利水放流設備からの放流量を徐々に増加させるとともに、下流河川において水質調査を実施することにより下流河川への影響等を把握する。
- ・試験放流日は、平成 26 年 12 月 15 日から 18 日までの 4 日間とするが、気象条件等により変更する場合がある。
- ・試験放流時の調査は関係機関で協力し、パトロール・水質調査を実施する。
- ・試験放流結果を踏まえ、本格運用の方法を検討し、木曽川本川への水質的な影響が少ないと判断され、かつ、利水補給が必要な場合は、関係者への情報連絡等を行い、本格運用を進めていく。

以上

# 当面の対応方針（案）

平成 26 年 12 月 8 日

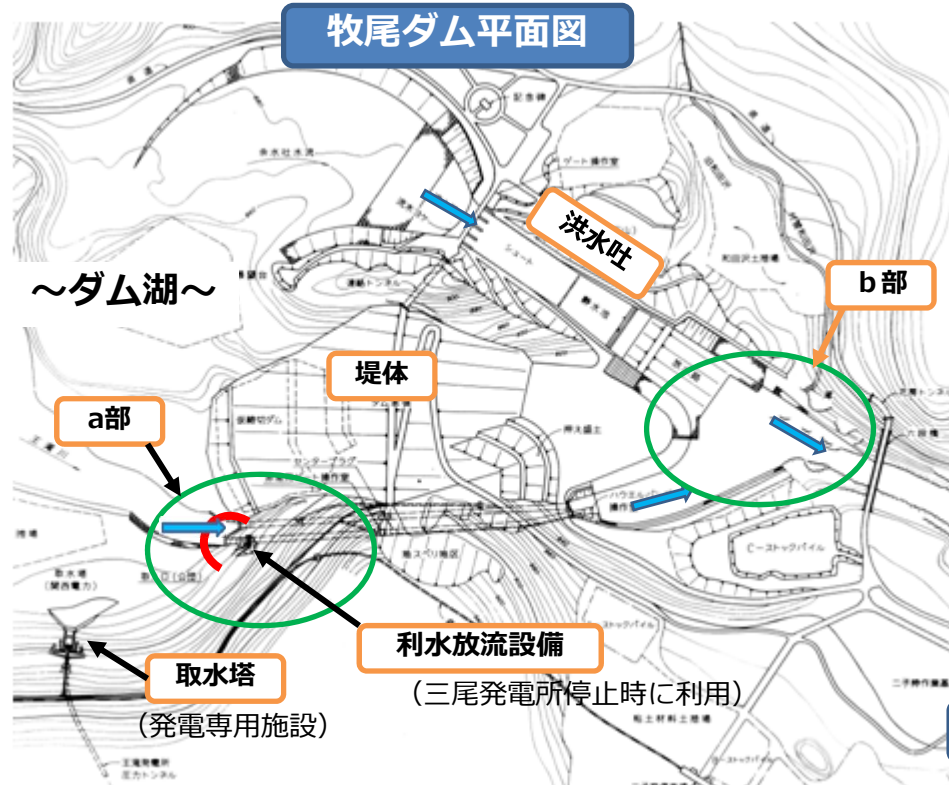
（独）水資源機構中部支社



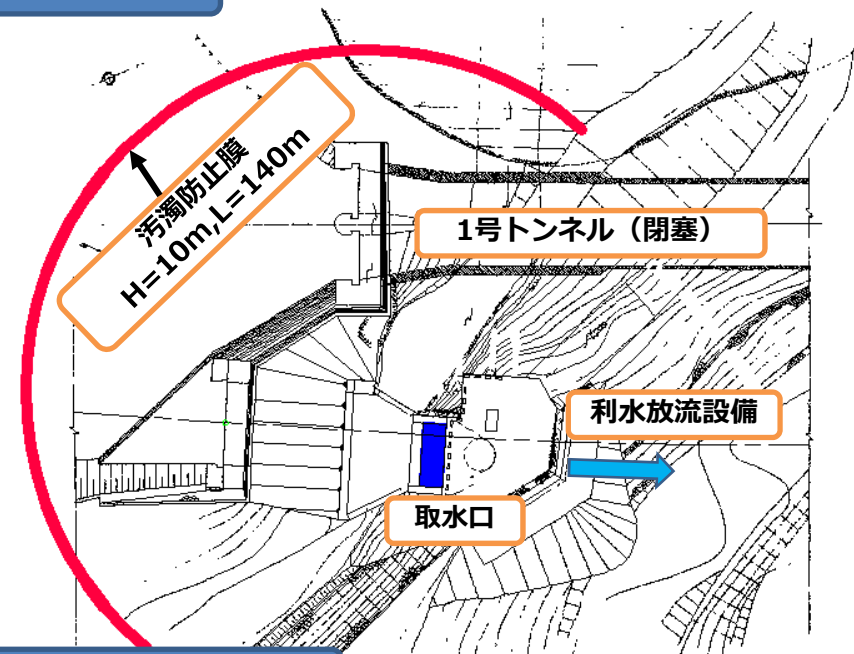
# 1. 牧尾ダムの白濁物質の流出抑制対策

別紙-6

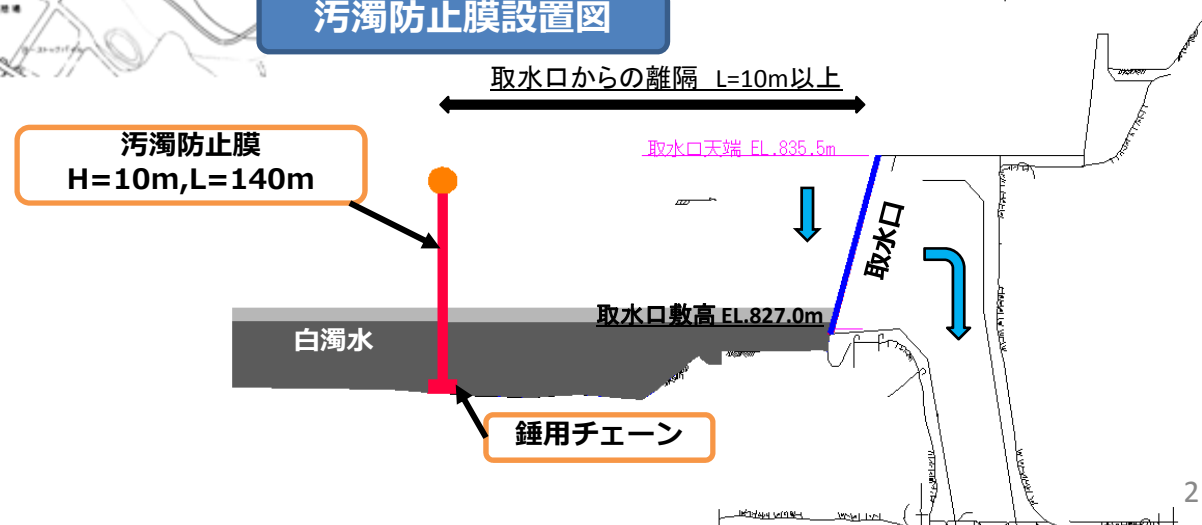
## ■ 利水放流設備前面への汚濁防止膜の設置



a部拡大図



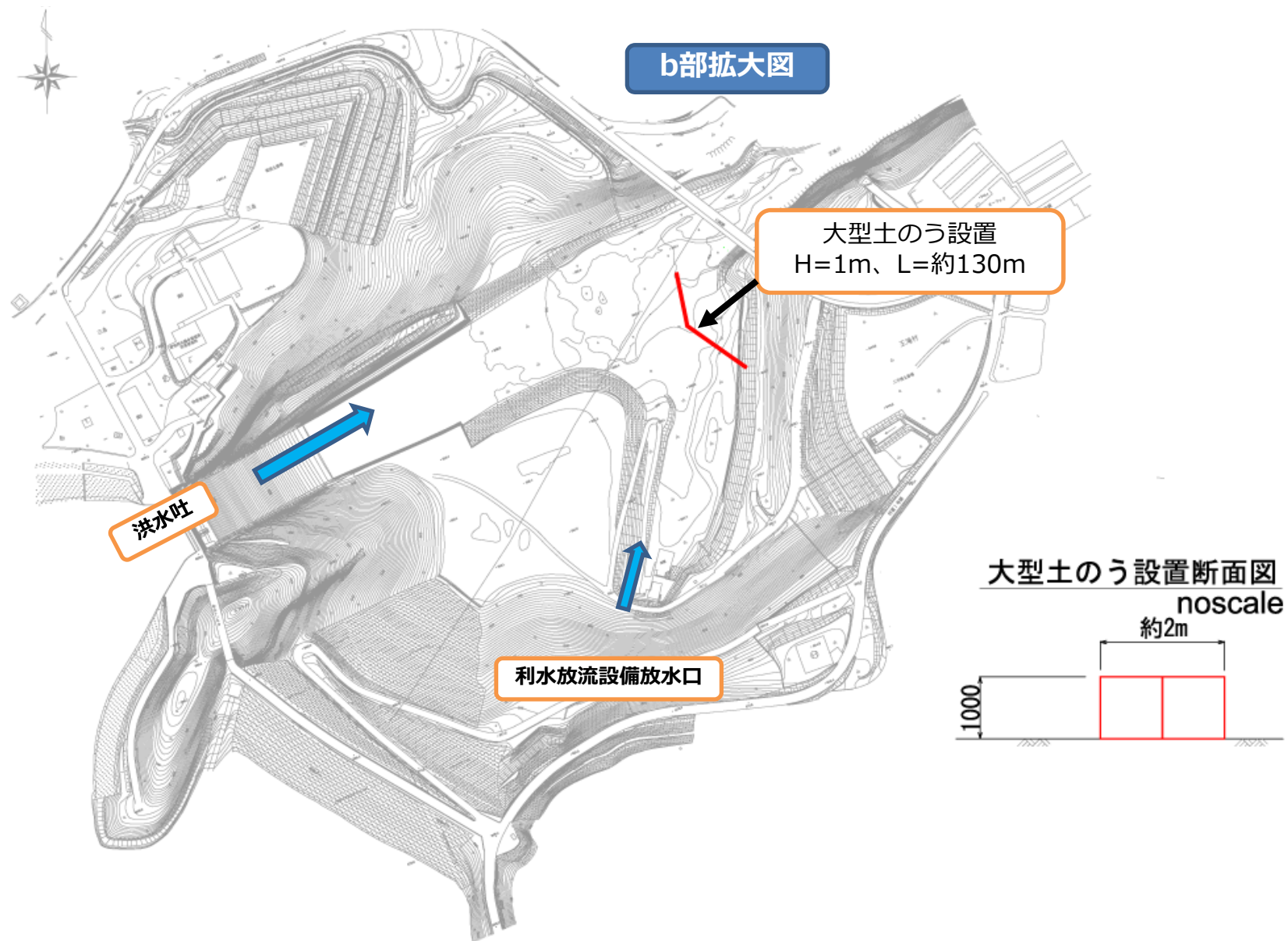
汚濁防止膜設置図



## 2. 牧尾ダム放流水の白濁物質の流出抑制対策

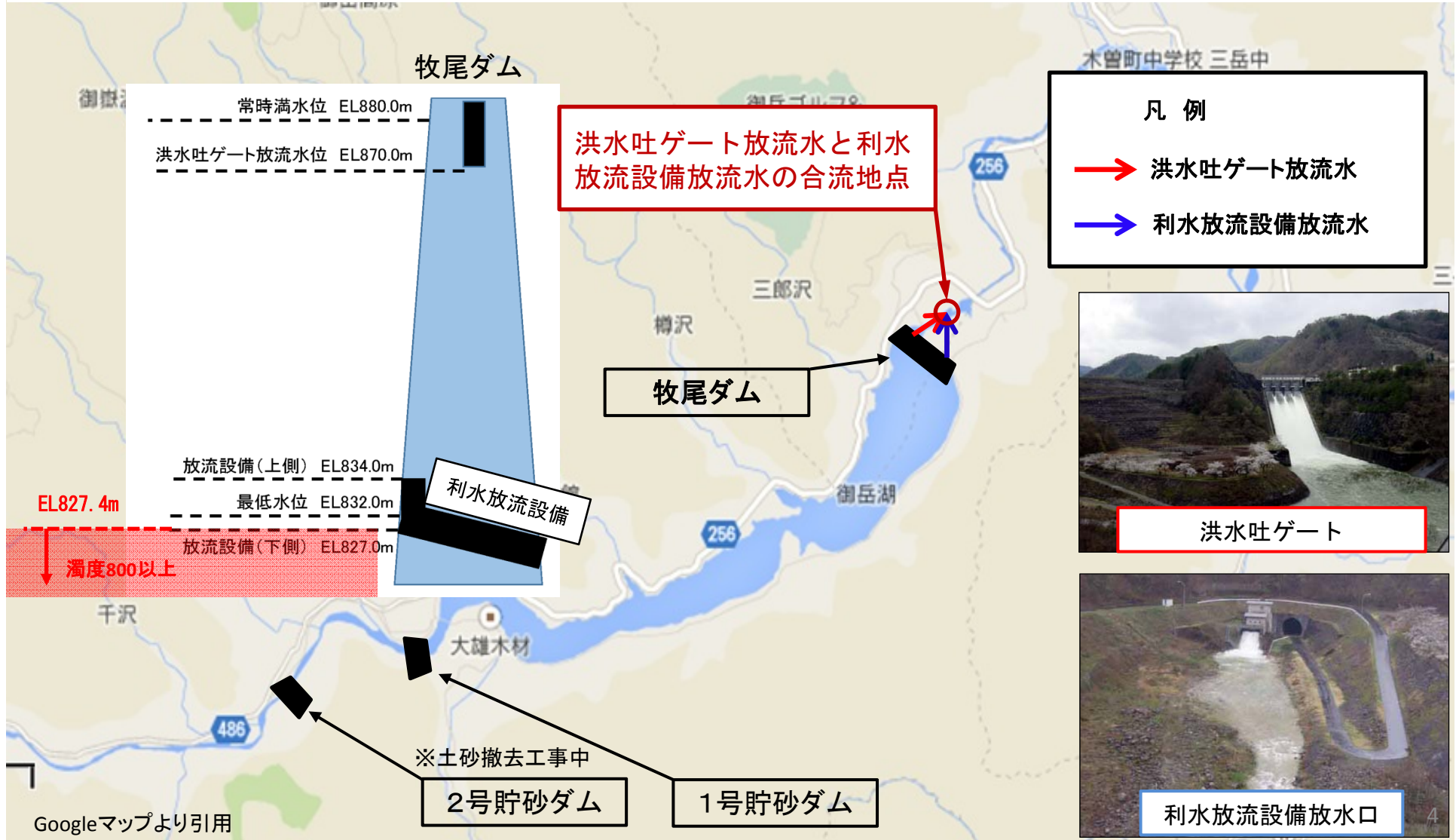
別紙-7

■ 利水放流設備放流口と洪水吐の合流部に大型土のうを設置し、希釈を促進



### 3. 牧尾ダム試験放流の概要

■ 利水放流設備によるダム底層からの放流に伴う下流河川への影響を緩和するため、湖底に沈降している白濁物質の流出抑制対策を実施するとともに、ダムの本格運用に先立ち試験放流を実施することにより、下流河川への影響を把握する。



## 4. 牧尾ダム試験放流計画（案）

### ■試験放流の概要

- ・ 利水放流設備によるダム底層からの放流量を徐々に増加させ下流河川の水質の変化を把握する。
- ・ 試験放流中は、ダム底層の高濁度の水が利水放流設備より一時的に放流※されることから、洪水吐ゲートによる表層水の放流との併用により、希釈を行う。

### ■試験放流時の水質調査項目と管理目標

- ・ 水質調査項目は、濁度と水素イオン濃度（pH）とする。
- ・ 試験放流の中断基準は、試験放流までに調整し、検討会メンバーへ確認して試験放流を実施する。
- ・ 試験放流結果を踏まえ、本格運用の方法を検討し、木曾川本川への水質的な影響が少ないと判断され、かつ、利水補給が必要な場合は、関係者への情報連絡等を行い、本格運用を進めていく。

### ■放流パターン

実施予定日	利水放流設備 放流量 (m <sup>3</sup> /s)	洪水吐ゲート 放流量 (m <sup>3</sup> /s)	放流予定時刻
12月15日	4.0	20.0	9:00~14:00
12月16日	9.0	6.0	8:00~14:00
12月17日	15.0	0	8:00~14:00
12月18日	15.0以上	0	8:00~14:00

※湖底に沈降している白濁物質のほか、利水放流設備内に堆積している土砂も放流されるため、一時的に濁度の高い水が放流されることが予想される。

※試験放流の実施予定日及び放流予定時刻は、気象条件等により、変更する場合がある。

# 5. 牧尾ダム試験放流モニタリング位置

■試験放流期間中は、各水質調査地点において、1時間毎に水質調査を実施する。

